

フリガナ	タケダ イクオ	学部 学科など	生物資源科学部 地域開発科学科
氏 名	武田 育郎	職 名	教授
		講 座など	地域環境工学講座
専門分野	・水質水文学	その特徴	水文循環に水質化学を加えた物質循環について取り組み、流域レベルでの水環境の改善を目指す。 ・技術士（農業部門・農村環境） ・水質関係第1種公害防止管理者
研究テーマ	『河川流域の面源（ノンポイントソース）汚濁の流出機構と制御』 『針葉樹人工林の間伐遅れ現象と面源負荷』 『水田流域の水質浄化機能の発現要因』 『水田流域の生物多様性と水質環境』 『河川水質の年次変動と面源負荷構造』	その特徴	近年、下水道整備などの生活排水対策にも関わらず、湖沼などの水環境は必ずしも改善していません。これには、 面源（ノンポイントソース） から流出する汚濁物質が大きく影響していると考えられています。 研究テーマでは、面源汚濁の実態把握と流出制御について取り組んでいます。 また、 水田地域の生物多様性と水質との関わりについて も研究しています。
可能な共同研究・地域連携	・テーマ・項目：河川流域における水質環境、水文循環、物質循環の現状分析と改善対策 ・要望事項：		
可能な科学技術相談	・項目：河川流域における水質環境、水文循環、物質循環の現状分析と改善対策		
キーワード	水質、面源、ノンポイントソース、水循環、物質循環		

* 研究のポイント

詳しくは <http://zoukou.life.shimane-u.ac.jp/~takeda/>

< 著書紹介 >



武田育郎著 水と水質環境の基礎知識，オーム社， 198p. 2001/11/25

- 第1章 現代社会と水環境のかかわり
- 第2章 水と水質を科学する
- 第3章 水質指標を測定する
- 第4章 物質循環から水環境を考える
- 第5章 水環境に関する法的規制
- 第6章 生活排水の実態とその対策
- 第7章 面源汚濁の実態とその対策
- 第8章 モデルから水環境を予測する
- 第9章 新しい水環境を創る

連絡先 Tel 0852-32-6558 Fax 0852-32-6538 E-Mail ikuotake@life.shimane-u.ac.jp